

栽培暦		3月	4月		5月			6月	7月	8月	9月	10月	
		春 耕	種 子 消 毒	催 芽	播 種	育 苗	施 肥	代 掻 き	田 植 え	米 ぬ か 散 布	中 干 し	追 肥	出 穂
有機栽培の 具体的な作業		春耕	種子消毒	育苗	施肥,代掻き	田植え	雑草対策 (米ぬか除草法)		追肥		稲刈り	秋耕	
			温湯種子消毒 60℃の温湯に10~12分浸して種子消毒	無化学肥料育苗 有機肥料のみで育苗 播種量は少なく ※プール育苗は苗の病気対策に効果あり	無化学肥料栽培 有機肥料のみで栽培 ※低地力田はリン酸施肥(熔リン,バットグアノ等)	坪当たりの植え株数は少なく	米ぬか除草法 米ぬかのワキで雑草を抑える100kg/10aを田植え直後に散布 N成分 2kg P成分 5kg K成分 2kg		無化学肥料栽培 即効性の有機肥料のみで追肥する ※有機栽培以外でも、追肥を水稲用ユキパーにすれば食味が向上。				稲わらをすき込み地力増進 多年生雑草の球根等をさらして枯死させる
花巻酵素製品(有機JAS適合)の使用例	水稲用ユキパー (有機肥料,食味向上)				即効性の有機肥料なので、代掻きの直前に施肥(元肥)				分けつ肥(出穂40日前まで) 穂肥(出穂25~10日前) 実肥(出穂~穂揃期/出穂10日目)				
	施肥量 (10a当り)				4袋(60kg) N成分 3.6kg P成分 2kg K成分 0.5kg				各1~2袋(15~30kg) N成分 0.9~1.8kg P成分 0.6~1.2kg K成分 0.1~0.2kg				
	ライズ (土壌改良,藁対策,とろとろ層作り,食味向上,青米減少) ■発酵ケイ酸29%含有 稲に効果大	稲わら分解 田のワキ防止 有効ケイ酸補給 稲わらと一緒にすき込み(秋か春,1回)		根張りの良い健苗作り 微生物と発酵ケイ酸が苗を丈夫に(自然育苗用土,養分を使う場合は不要)					※微生物と有効ケイ酸の補給 窒素過剰 茎葉を頑丈にしたい 若干追肥したい場合に 中干し頃に散布			稲わら分解 田のワキ防止 有効ケイ酸補給 稲わらと一緒にすき込み(秋か春,1回)	
	施肥量 (10a当り)	2袋 (30kg,粒状)		苗土に2%混合、土18%に2合(360cc)					2袋(30kg,粒状)			2袋(30kg,粒状)	
自然育苗用土 自然育苗養分 (水稲専用有機床土)使用量			自然育苗用土 苗箱7枚/袋(覆土除き)又は 自然育苗養分 苗箱48枚/袋(別途,土と混合)	<p>■この水稻有機栽培暦は食味・安全に重点を置いたものです。収量が落ちる場合もあります。■</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水稲用ユキパー：魚かすを原料にした100%有機のポカシ肥料で即効性があります。</li> <li>・ライズ：貝化石に高発酵力の好気、嫌気性の微生物を培養した農業用の微生物資材です。肥料成分無し。ケイ酸29.7% カルシウム6.6%。土壌の改良、堆肥/緑肥/生ごみの発酵分解促進、ポカシ肥の発酵に使います。</li> <li>・作業時期、施肥量等は一例です。詳細は各地域の標準に従って下さい。</li> <li>・この例の総施肥量 N6.5kg P7.6kg K2.6kg (K(カリ成分)は稲わらのすき込みを前提。)</li> </ul>									

この水稻有機栽培暦の詳細は『「食味がよい」有機米栽培法』(説明書)をご覧ください。

・米ぬか除草をしないときは元肥の水稲用ユキパーを標準の6~8袋にします。